

献血に関するアンケート結果

県内の10代の献血者数はこの20年間で24.1%減少しており、このまま減少が進んでいくと、将来的に血液を安定して患者さんに届けられなくなる可能性があります。

若い献血者を増やす取組の参考とするため、高校生の皆さんの献血に対するイメージ等についてお伺いいたしました。

★調査時期:令和5年2月6日～16日

★対象者:県政モニター159人

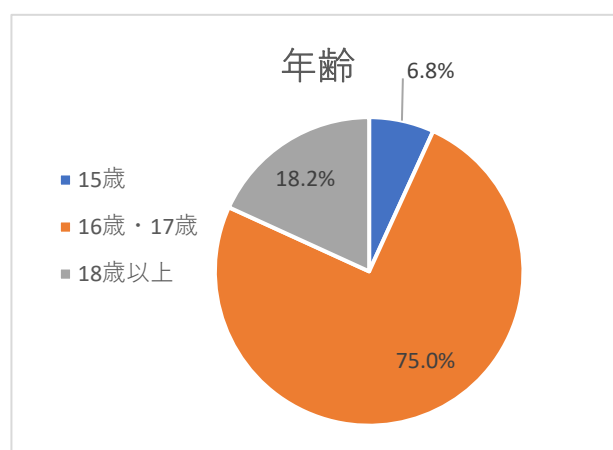
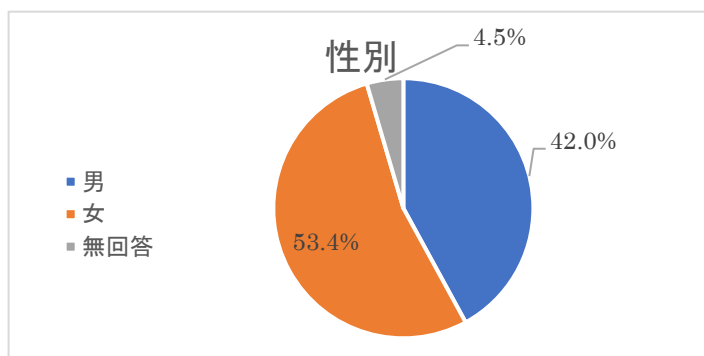
★回答数:88人(回収率55.3%)

★担当課:健康医療福祉部薬務課

【属性】

性別	人数	割合
男	37	42.0%
女	47	53.4%
無回答	4	4.5%
計	88	100%

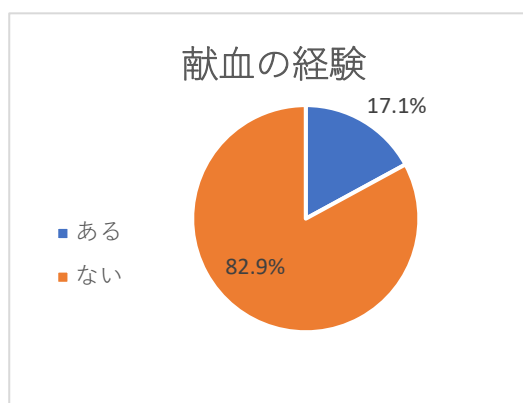
年齢	人数	割合
15歳	6	6.8%
16歳・17歳	66	75.0%
18歳以上	16	18.2%
計	88	100%



居住地	人数	居住地	人数
大津市	23	高島市	6
彦根市	8	東近江市	6
長浜市	9	米原市	1
近江八幡市	4	竜王町	2
草津市	5	愛荘町	1
守山市	4	豊郷町	1
栗東市	8	甲良町	1
甲賀市	5	県外	1
野洲市	3	計	88

問1 今までに献血をしたことがありますか。(16歳以上の方のみ)(n=82)

ある	14人	17.1%
ない	68人	82.9%
計	82人	100%



問2 献血した場所はどこですか(複数選択可)(n=14)

学校	4人	28.6%
商業施設	2人	14.3%
献血ルーム	9人	64.3%

問3 献血をした地域はどこですか。(複数選択可)(n=14)

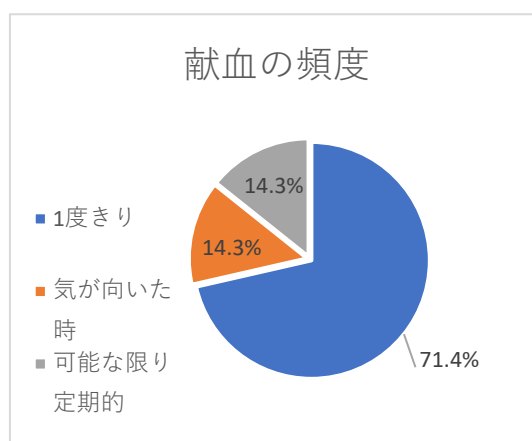
居住地	6人	42.9%
県内(居住地以外)	7人	50.0%
県外	3人	21.4%

問4 最初に献血したきっかけは何でしたか。(複数選択可)(n=14)

友人・家族の誘い	9人	64.3%
高校献血	6人	42.9%
キャンペーンに惹かれた	4人	28.6%
血液不足を知った	2人	14.3%
何となく	1人	7.1%
その他	1人	7.1%

問5 献血の頻度はどの程度ですか。(n=14)

1度きり	10	71.4%
気が向いた時	2	14.3%
可能な限り定期的	2	14.3%
計	14	100%



問6 献血したことがない理由は何ですか。(複数選択可)(n=68)

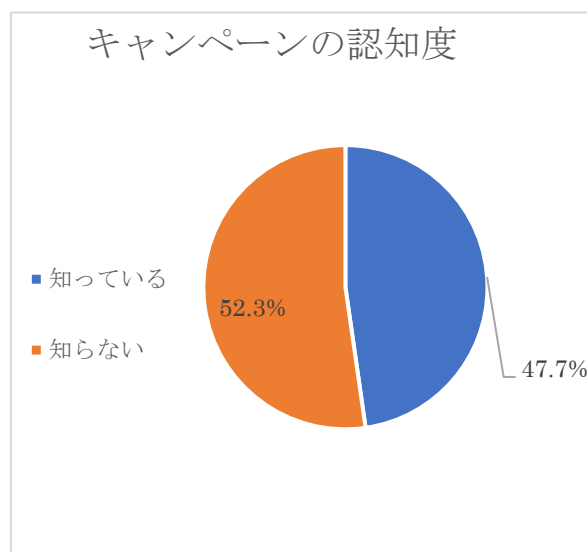
どこでできるかわからない	33人	48.5%
できる場所が近くにない/ 献血バスが来ない	29人	42.6%
時間がない	19人	27.9%
怖い、痛いのが嫌	15人	22.1%
事情によりできない	9人	13.2%

問7 献血・血液製剤(血液を原料とする医薬品)に関してあなたの知っている事柄を選んでください。(複数選択可)(n=88)

血液は人工的には作れない	63人	71.6%
献血には年齢制限がある	63人	71.6%
血液は長期保存できない	52人	59.1%
一人が1年に献血できる回数・量には限りがある	47人	53.4%
血液製剤の多くは、病気の治療で継続的に使われている	24人	27.3%
草津駅前に「びわ湖草津献血ルーム」がある	24人	27.3%
献血にかかる時間は約30分である	19人	21.6%
どれも知らなかった	7人	8.0%

問8 滋賀県では、県内で献血した際に記念品を進呈する「高校生(学生)限定献血キャンペーン」を年2回実施していますが、知っていますか。(n=88)

知っている	42人	47.7%
知らない	46人	52.3%
計	88人	100%



問9 記念品としてこういったものに魅力を感じますか。(n=88)

モバイル関連	56人	63.6%
文房具	46人	52.3%
小物	13人	14.8%
その他	16人	18.2%

※その他で現金や金券というご意見をいただきましたが、売血(献血で金銭を渡す行為)は法律で禁じられています。ご理解ください。

問10 普段よく見る媒体は何ですか。(上位3つまで)(n=88)

YouTube	67人	76.1%
インスタグラム	58人	65.9%
X	49人	55.7%
検索エンジンサイト	34人	38.6%
テレビ	26人	29.5%
TikTok	19人	21.6%
その他	1人	1.1%

問11 献血に関するご意見がありましたらお願いします。(主なもの)

- 血が足りなくて、本当に必要な人のところに供給が行き届いていないことをもっと発信していく。
- 献血はあまり痛くないということを知ってもらうこと。献血＝怖いというイメージを払拭すること
- 学校に献血車が来てもらえるとよい。学生がよく通る場所に献血バスを置く。学校に献血のチラシ(常時出来る場所書かれている)を貼る
- どういう人の役に立つのかなど詳しく分かりやすくなれば助けに力になりたいと思うと思う。
- 自分はモバイルバッテリーがもらえると知ったときは興味を持ったので、記念品をもっと充実させてほしい。
- 献血という言葉自体は聞いたことがあっても、実際にどのようなものかはよく知らなかったなので、知ることが大切だと思いました。
- 私を含め、学生で献血のことを詳しく知っている人は多くないのかなと感じているので、学校で学生に向けて説明をしたり、話すだけだと興味が湧かないかもしれないので、ワークショップなどの開催がいいのかなと思いました。
- 有名 YouTuber やインフルエンサーに献血を紹介してもらったり、献血に関する疑問点(痛くないのか、何分かかるのか、献血ルームでどんなことができるのか)を明確にし、それをポスターやチラシ、広告などに使う。献血の意義と言うより、献血すると何ができるのか(飲み物やおかしが食べられる…等々)をもっと伝える。
- 「献血で助かった方の声」だけでなく、「献血不足で困っている方の声」も献血の啓発に用いるべきだと思う。より切迫感があり、効果的である。
- アニメ・インフルエンサーなどとのコラボ。
- 献血のメリットや活用方法や保存期間や現状(不足等)などを全面的にして、献血の義務感をなくせれば良いと思う。
- 若い世代が身近に感じる SNS での情報発信を多くする。